

~ 13
 3721
 13



門へ13
 號3721
 卷13

賀賀
 他他
 魚魚

御新に
 梅松録七編



上乃卷

一

茲一本の樹あり御所櫻梅松録と號く
 雖而櫻の如き香もなれど梅
 の如き薫ひも亦松の如き色もさけ
 とど帝徒み年々歳々枝葉の繁茂考
 つみ之更み實を花も色其処で梓元
 僕み言ら余り管々數余計枝葉の
 缺をいそ實本と肥と天暗の株みまると
 ありては僕ぬらぬ白み左に去るが彼
 松竹梅の鉢植ゆ雪割福寿草の根あり強ち正本を打捨て枝葉
 計りを茂らまらむ是も僉根の譚みまると亦一鉢と培て歳の内より
 室み咲せ来ん初春の御年玉の料とらむ



亥春
 春霞樓主人鶴亭秀賀記





花
咲

秋
照
之
助

侍
女
若
艸

是
善
卿
の
逆
習
悪
少
年
植
田
民
弥



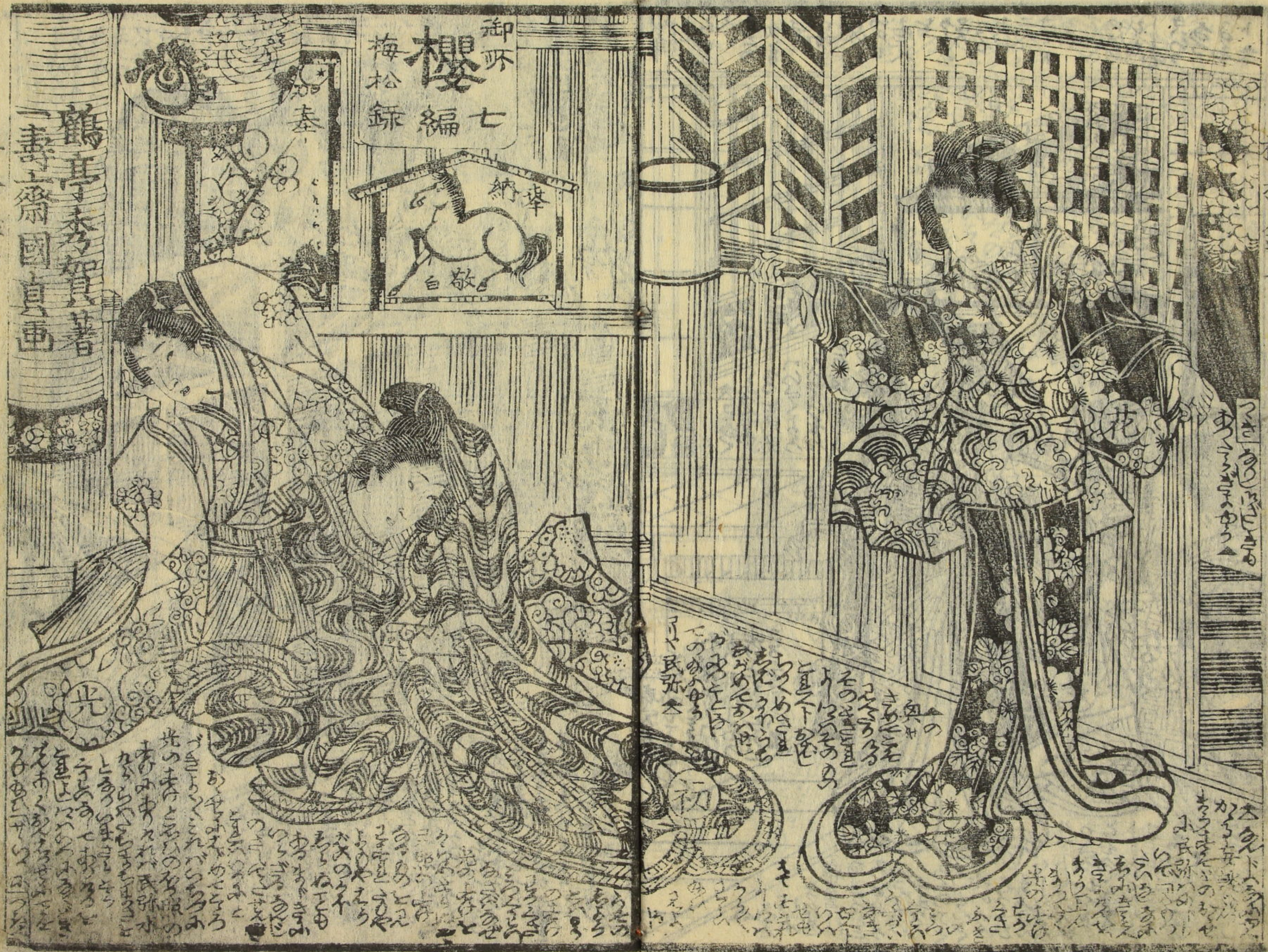
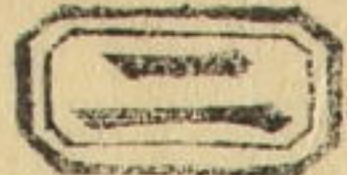
○名竹
呉

松の
前

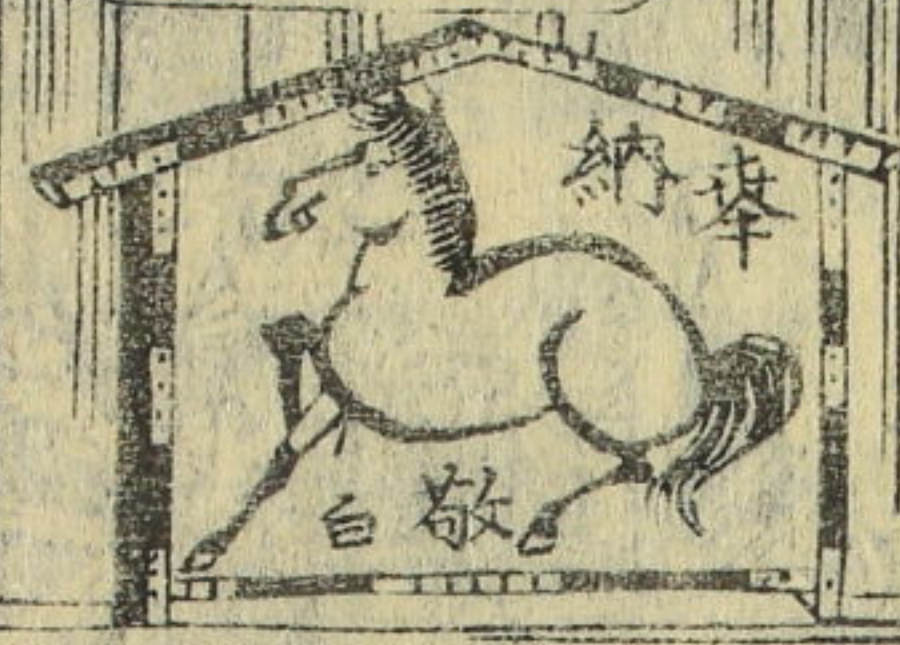
木金一

○菅原家の
奥家老
横田主膳
宗忠

○中老
秋霜



御吓
梅松 櫻 編七
録



鶴亭秀賀良著
壽上齋國貞画

梅松録

花

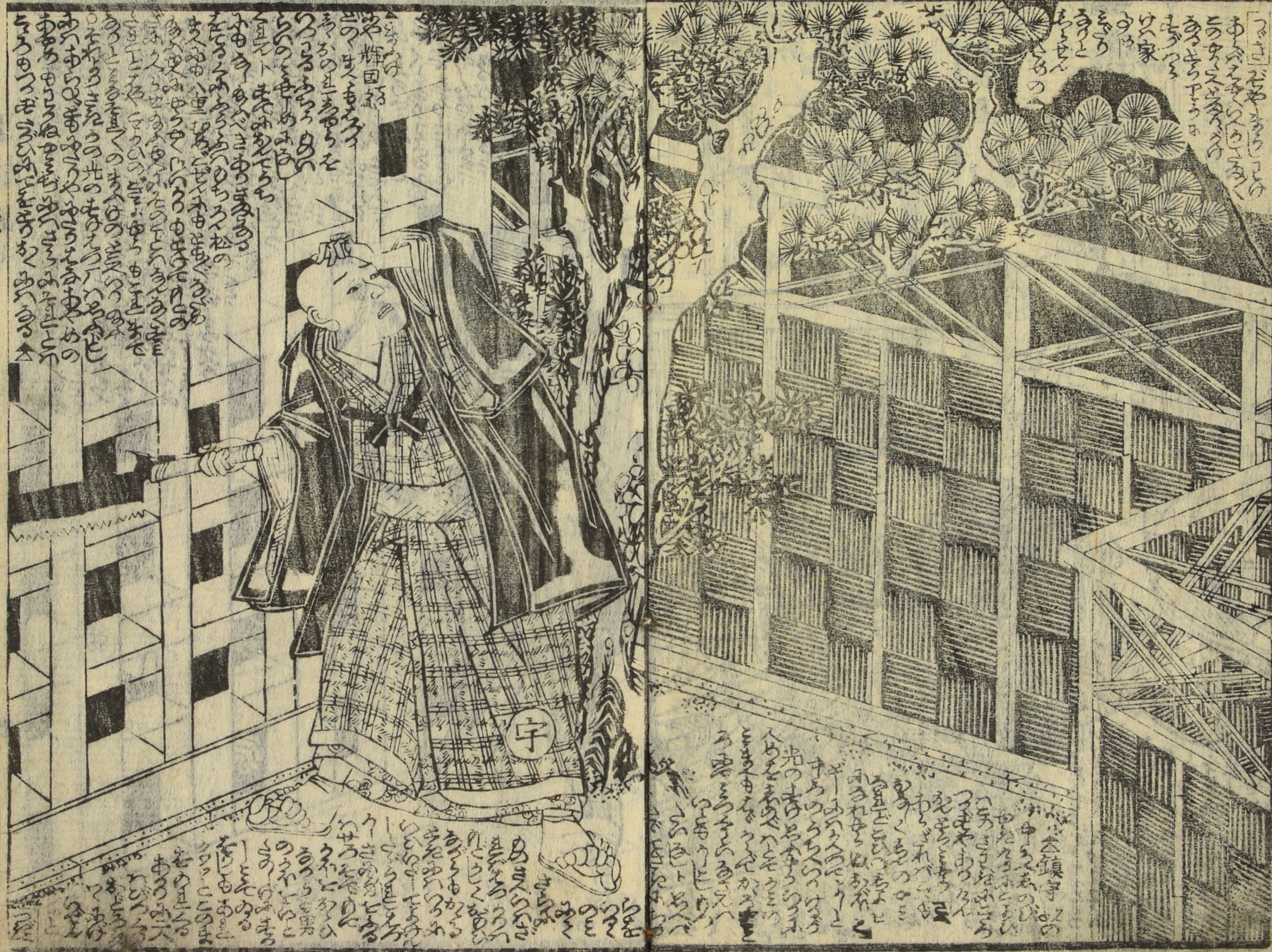
光
民強

光
民強

光
民強

ついでに...
あつた...
この...
あつた...
ついでに...
あつた...
この...
あつた...

梅松録
ついでに...
あつた...
この...
あつた...
ついでに...
あつた...
この...
あつた...



梅松録
ついでに...
あつた...
この...
あつた...
ついでに...
あつた...
この...
あつた...

梅松録
ついでに...
あつた...
この...
あつた...
ついでに...
あつた...
この...
あつた...

此散は... 功効... 御藥 固齋散... 功効... 御藥 固齋散... 功効...



秀賀作 國貞画

無病 養生手引草 全二冊 京山翁著 廣重画

美玉百人一首 中平形 全一冊

紅梅百人一首 半紙本 全一冊

離鶴笹湯壽 紅摺大本 京山翁著

敵討白石新 全二冊 芳虎画録

伊賀越敵討物語 全二冊 芳虎画録

源家武勇鑑 二編 秀賀板合 三編 芳虎画録

足利絹手涂紫 二編 金水作 三編 國貞画

御藥 固齋散 功効... 御藥 固齋散... 功効... 御藥 固齋散... 功効...

寢小便大奇藥 三百包代 功効... 寢小便大奇藥... 功効... 寢小便大奇藥... 功効...

